

新技術と社会づくりに関する特別委員会 議事次第

令和8年3月10日(火)
午後1時30分～
於：第5委員会室

1 開 会

2 所管事項の調査

「生成AI時代の社会とビジネスの新しい可能性について」

参考人：アクセント株式会社

AIセンター長 保科 学世 氏

3 閉会中の継続審査及び調査

4 今後の委員会運営

5 その他

6 閉 会

京都府における

生成 A I 活用の取組状況について

令和 8 年 3 月 10 日
京都府総合政策環境部
デジタル政策推進課



1 生成AI活用の推進に係る国の動向

AI法（人工知能関連技術の研究開発及び活用の推進に関する法律）（令和7年5月成立・9月全面施行）

第3条 2 人工知能関連技術の研究開発及び活用の推進は、人工知能関連技術が、その適正かつ効果的な活用によって行政事務及び民間の事業活動の著しい効率化及び高度化並びに新産業の創出をもたらすものとして経済社会の発展の基盤となる技術であるとともに、安全保障の観点からも重要な技術であることに鑑み、我が国において人工知能関連技術の研究開発を行う能力を保持するとともに、人工知能関連技術に関する産業の国際競争力を向上させることを旨として、行うものとする。



AI基本計画（人口知能基本計画）（令和7年12月23日 閣議決定）抜粋

（AIで変わる世界と我が国の現状）

「人手不足を始め、社会課題が山積する我が国こそ、世界に先立ちAIと向き合い、能動的に利活用を進めていかなければならない」

（リスクへの対応）

「AIの技術進歩とともに変動するリスクを適時適切に把握し、AIの透明性・公平性・安全性を始めとする適正性を確保する」

令和7年版「情報通信白書」（生成AIサービスの各国での利用状況）

・日本：9.1%→26.7%、米国：46.3%→68.8%、ドイツ：34.6%→59.2%、中国：56.3%→81.2%

（※何らかの生成AIサービスを「使っている（過去使ったことがある）」と回答した個人の割合。R5年度調査 → R6年度調査）

2 生成AI活用の推進に係る府の動向

京都府スマート社会推進計画

京都府では、R5年12月に改訂した「京都府スマート社会推進計画」において、「デジタル技術を活用した業務改革の推進」等を掲げ、生成AIなどデジタル技術を活用した職員の業務効率化と府民サービスの向上に取り組んでいるところ。

府スマート社会推進計画に基づき、

- ・ R5年度からの利用ルールの検討や勉強会・実証・試行を経て、段階的に全庁職員への利用を拡大。
- ・ R7年度からは、会計・文書事務等の庁内マニュアル等を参照して回答可能な生成AIサービスを導入。

R5年度

R6年度

1月

R7年度

● 勉強会・実証
/府税の問合せ向けチャットボット検証

● 一部所属で試行
(文書校正、企画アイデア、校正・要約等/事務処理上のQAチャットボット実証)

● 職員が適正に利用するための「生成AI利用ガイドライン」の策定

● 文書作成・情報検索・アイデア出し等に利用できる生成AIを全庁導入

● 府民向けの府税・就労相談に生成AIチャットボットを導入

● 会計・文書・給与事務等の事務処理上の疑問に回答可能な生成AIを全庁導入

3 府における生成AIの利用促進等の取組

庁内における生成AIの利用普及の取組

- ・ 利活用法紹介資料、操作研修動画等の作成・周知
- ・ レベル別・所属研修、ワークショップ、管理職向け研修等の開催
(R7: 延べ16回・約2,100名が参加)
- ・ 庁内オンラインコミュニティ「AIラボ」の開設
(新たな利活用方法についての情報の発信や、
職員間での効果的な使い方や疑問について意見交換の場)

「京都府生成AI利用ガイドライン」の策定

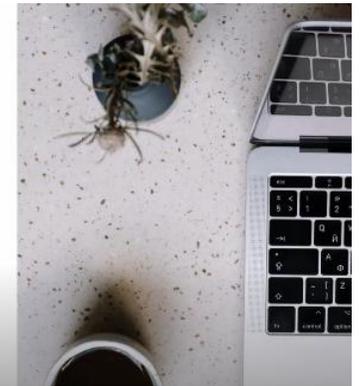
職員が生成AIを業務に利用するにあたって、特性やリスクを理解した上で、適正に利用するためのルールを規定

＜主な遵守事項＞

- ・ 個人情報や機密性の高い情報を入力しないこと
- ・ AIが生成した文章については、原則そのまま利用せず、必ず確認・修正して利用すること 等

生成AI「Copilot」
入門研修

<第1回>



4 府における生成AIの利用状況等（1）

京都府における生成AIの利用状況（職員アンケートにより把握）

＜庁内業務利用の生成AI＞（R8.1月時点）

- ・ 主な用途：情報検索、文書作成・要約、アイデア出し
 会計・文書・給与等の事務処理上の疑問解消等
- ・ 職員の利用率：約60%（週3日以上利用している職員33%）
 （※毎日利用している職員：導入1か月後8%→導入1年後16%）
- ・ 業務時間削減効果：職員1人あたり約160時間/年間



会計通信

第379号（令和7年6月13日発行） 京都府会計課

令和7年4月30日利用開始！Chat AI を使ってみよう！

Chat AIの活用例

例えば、「請求書の記載事項に誤りがあった場合、どのように訂正してもらえばよいか」について質問すると、会計規則、会計事務の手引きを参照して、金額は訂正できない等が回答されます。
会計事務を進める上では根拠となる規則やマニュアル等を必ず確認していただく必要がありますが、Chat AIに質問をすると参照ページが示されますので、とても便利です。
 業務を進める上での参考として、是非活用してみてください！

請求書の記載事項に誤りがあった場合、どのように訂正してもらえばよいですか。

請求書の記載事項に誤りがあった場合の訂正方法

請求書の記載事項に誤りがある場合、以下のような方法で訂正していただく必要があります。基本的な対応方法

- 請求書の送付:**
 - 請求書の内容の全部または一部が不適切な場合は、その事由を明示して当該請求書を相手方に返付します。
 - 返付した場合は、その返付した日から相手方の届出した請求書を受け付けた日までの期間は、約定期間に算入されません。
 - (0061111 10第4 支出05 P117-161 実務編（請求書等と支出命令）(R7.4.1).pdf: ページ2)
- 訂正方法:**
 - 請求書の金額（首欄金額）は訂正できません。金額に誤りがある場合は、新たな請求書を提出していただく必要があります。
 - (0061142【質疑応答集】【4】支出一般 (R6.4.2.1)

Chat AIの使い方

- ①京都府職員ポータルの庁内システムよりアイコンを選択
- ②画面表示後、**ドキュメントタブ**を必ず選択
- ③次に「**会計事務フォルダ**」を選択（**選択すると線のチェックがつかます**）
- ④具体的な質問を文章で入力
 ※初めてログインする時は、課ユーザーのアカウントとパスワードが必要です。
 詳細はデジタル政策推進課発出の**こちらの通知**をご確認ください。



ファイル交換サーバー（民間事業者委託受信）

会計課	山城会計室	南丹会計室	中丹会計室	丹後会計室	警察会計室
所属で解決できない疑問は会計事務ナビデスクへ！緊急の場合は以下へお問い合わせください。					
総務係075(414)5411（内線5411） 指導係075(414)5405（内線5405） 公金管理係075(414)5414（内線5414）	防災8-750-290-292,293 局線 0774(21)2418	防災8-810-290-293 局線 0771(63)0571	防災8-820-290,292,293 局線 0773(40)2169	防災8-870-290,292,293 局線 0772(62)5402	警察電話 2296

4 府における生成AIの利用状況等（2）

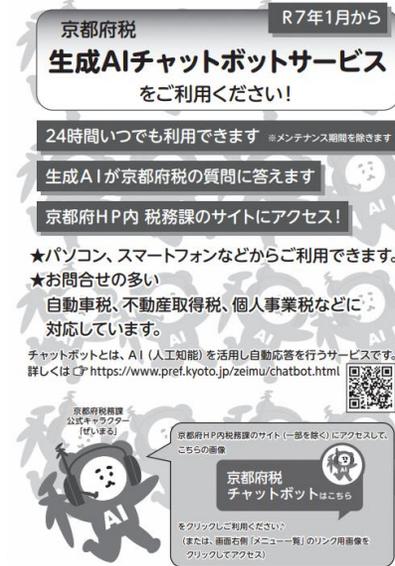
<生成AIチャットボット>

【府税生成AIチャットボットサービス】

- ・生成AIを活用し自動応答を行うことで、来庁不要で24時間いつでも京都府税（自動車税、不動産取得税、個人事業税）について質問に答えてくれるサービス。
- ・利用件数：約5,000回（R8.1月末時点）

【京都ジョブパーク・チャット就労相談】

- ・相談者に適した京都ジョブパークの支援メニューの案内、来所・オンライン相談などの予約、京都ジョブパークの利用に関するよくある問い合わせにも対応するサービス。
- ・相談件数：約630回（R7.12月末時点）



京都府税 生成AIチャットボットサービス R7年1月から
ご利用ください!

24時間いつでも利用できます ※メンテナンス期間を除きます

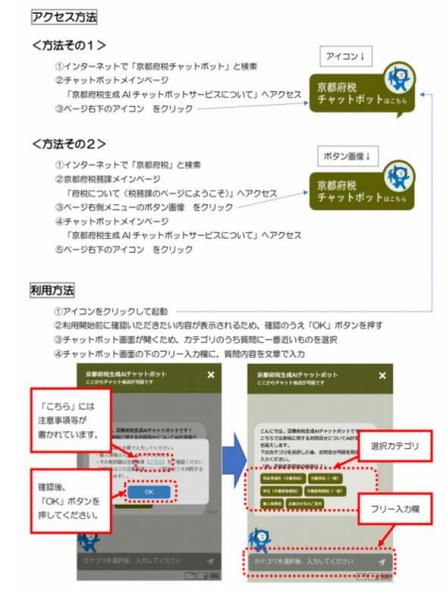
生成AIが京都府税の質問に答えます

京都府HP内 税務課のサイトにアクセス!

★パソコン、スマートフォンなどからご利用できます。
★お問合せの多い
自動車税、不動産取得税、個人事業税などに
対応しています。

チャットボットとは、AI（人工知能）を活用し自動応答を行うサービスです。
詳しくは <https://www.pref.kyoto.jp/zeimu/chatbot.html>

京都府税課 公式キャラクター「ぽんぽん」
京都府HP内税務課のサイト（一部を拡大）にアクセスし、
こちらの画像
京都府税チャットボットはこちら
をクリックしてください。
（または、画面右側「メニュー」のリンク用画像を
クリックしてアクセス）



アクセス方法

<方法その1>

- ①インターネットで「京都府税チャットボット」と検索
- ②チャットボットメインページ
「京都府税生成AIチャットボットサービスについて」へアクセス
- ③ページ右下のアイコン をクリック

<方法その2>

- ①インターネットで「京都府税」と検索
- ②京都府税課課長メッセージ
「府税について（税務課のページによること）」へアクセス
- ③ページ右側メニューのボタン画像 をクリック
- ④チャットボットメインページ
「京都府税生成AIチャットボットサービスについて」へアクセス
- ⑤ページ右下のアイコン をクリック

利用方法

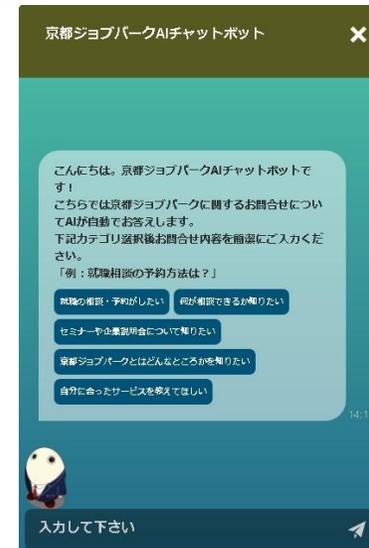
- ①アイコンをクリックして起動
- ②利用開始時に画面に「こんにちは」という内容が表示されるため、画面のうえ「OK」ボタンを押す
- ③チャットボット画面が開くため、カテゴリのうち税務課に一番近いものを選択
- ④チャットボット画面の下のフリールームに、質問内容を文章で入力

「こちら」には
注意事項等が
書かれています。

確認後、
「OK」ボタンを
押してください

選択カテゴリ

フリールーム



京都ジョブパークAIチャットボット

こんにちは。京都ジョブパークAIチャットボットです！
こちらでは京都ジョブパークに関するお問合せについてAIが自動でお答えします。
下記カテゴリ選択後お問合せ内容を画面にご入力ください。

「例：就職相談の予約方法は？」

- 就職の相談・予約がしたい 何が確認できるか知りたい
- セミナーや企業説明会について知りたい
- 京都ジョブパークとはどんなところかを知りたい
- 自分に合ったサービスを探してみたい

14:10

入力して下さい

5 府における生成AI利用推進の課題と今後の展開

【課題】

- ・ 生成A I を使ったことがない職員や、十分に使いこなせていない職員もいることから、生成A I の日常的な利用が職員全員に定着するよう、具体的な業務での活用メリットを庁内で共有することが課題

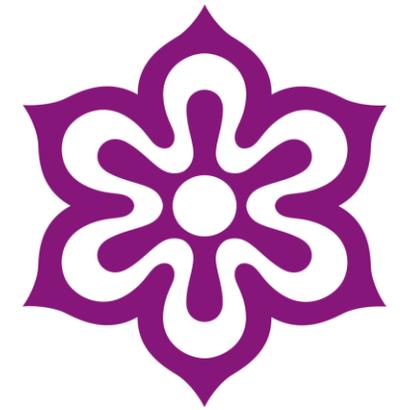


【今後の展開】

- ・ 全職員を対象とした研修の継続等により職員全体の活用スキルの底上げ
- ・ 個々の業務に特化した生成A I 活用のモデルケースを創出し、庁内に横展開

※ 将来に向けて・・・

- ・ 日進月歩で進化している生成A I の技術情報を収集しながら、自律的に作業を実行して目標を達成する「A I エージェント」等を活用して、補助金等の手続や審査を自動化するなど、生成A I のさらなる利活用を通じて、府民サービスの向上と業務効率化を推進してまいりたい。



京都府

(案)

令和8年 月 日

京都府議会議長 荒 卷 隆 三 殿

新技術と社会づくりに関する特別委員長 森 口 亨

閉会中の継続審査及び調査要求書

本委員会に付されている事件は、下記の理由により、引き続き審査及び調査を要するものと認めるから、京都府議会会議規則第75条の規定により申し上げます。

記

1 件 名

AI、IoTなどの先端技術を活用した新産業の創造や京都産業の多様性を生かし、人材確保策をはじめ様々な分野の課題の解決を図るとともに、脱炭素社会の実現に向けた施策について

2 理 由

審査及び調査が終了しないため

開催等に係る委員会調査の結果概要について

総合政策環境部

開催事等名	主催者名 (招待者名)	会場 (市区町村名)	年月日
京都環境フェスティバル2026 オープニングセレモニー	京都環境フェスティバル実行委員会	京都府総合見本市会館 (京都パルスプラザ) (京都市伏見区)	令和8年2月11日(水・祝)

商工労働観光部

開催事等名	主催者名 (招待者名)	会場 (市区町村名)	年月日
ZET-summit2026 オープニング	ZET-summit実行委員会	永守重信市民会館 (向日市)	令和8年2月2日(月)
ZET-summit2026 交流会	ZET-summit実行委員会	HANAむこう (向日市役所内) (向日市)	令和8年2月2日(月)
アンドロイドお披露目 記念シンポジウム	京都府、いのちの未来研究所(株式会社国際電気通信基礎技術研究所)	けいはんなオープンイノベーション センター(KICK) (木津川市・相楽郡精華町)	令和8年2月21日(土)